



特別展



— 祈り・願い・美しさのかたち



郷土の 土人形の 形



Japanese folk dolls - forms of pray, wish and beauty

令和5年

1月21日[土] - 5月7日[日]

開館時間：午前9時 - 午後5時 会場：第1・2民芸館

休館日：月曜日 観覧料：一般300円・高大生200円

中学生以下と70歳以上、豊田市内在住・在学の高校生、障がい者は無料(要証明書)

主催：豊田市民芸館 共催：中日新聞社 出品協力：ギャラリー 顕美子、ケンジタキギャラリー

〒470-0331 愛知県豊田市平戸橋町波岩86-100 TEL 0565-45-4039
<https://www.mingeikan.toyota.aichi.jp/>



豊田市民芸館

郷土人形は、江戸時代中頃より節句物、縁起物として日本各地で制作されました。江戸時代前期に権力階級や裕福な人々の間で流行した、着物をまとった雛人形(衣裳人形)や御所人形といった高価な人形に代わり、庶民の間で身近な紙、木、土といった材料で作られるようになったのが郷土人形の始まりです。人々の暮らしの中の祈りや願い、憧れが込められた郷土人形は、何れも丁寧に作られ、愛しまれてきました。そして特に地方色を強く表した郷土人形の中に、期せずして高度な美を伴う人形が数多く生み出されたという事実は、驚くべきことといえるでしょう。

本展では、京都・伏見人形をはじめ、宮城・堤人形、山形・相良人形、福島・三春人形、埼玉・鴻巣人形といった各地の特徴的な人形を紹介するとともに、愛知県内の代表的な土人形の産地である名古屋や三河、犬山の人形など、素朴な美しさをたたえた全国の郷土人形を紹介します。

民藝運動を主導した柳宗悦は、人間と人形の関係について「人間の姿を純化して人形が生まれる」「人間の動作や表情が美しい時、それは人形のように美しい」と語っています。昨今のコロナ禍によって、人々の自由な行動が規制され、その表情はますます険しさを増しているように見えます。こうした状況だからこそ、人間の本来の美しさを鮮やかに示した郷土人形の姿や表情に眼差しを向けていただけたらと思います。



1. 三春人形 2. 帖佐人形 お福と福祿寿 3. 高松土人形 傘持ち娘、子守り 4. 小浜張子 人魚 5. 松本張子 内裏雛 6. 今戸人形 遠磨り童子 7. 名古屋張子 馬乗り狐 8. 浜松張子 酒買い猫
 [表写真/上部・左上から時計回りに] 三河土人形 明智光秀/三河土人形 猫抱き娘/堤人形 狐忠信/琉球張子 鯉乗り童子/岸張子 鯉乗り金時/伝鴻巣人形 仮名手木忠臣蔵/三春人形 飴売り/浜松張子 鳥神楽 [下部] 飯岡人形 羽衣狝

□ 関連事業

○ 記念講演会「美しき郷土人形」

日 時: 3月11日(土) 午後2時-3時半

講 師: 林 直輝氏

(日本人形玩具学会理事、
日本人形文化研究所所長)

会 場: 第3民芸館

聴 講: 無料

(ただし会期中の観覧券の提示が必要)

定 員: 先着40名

(当日午後1時より整理券を配布)

○ 土人形絵付け実演

日 時: 3月25日(土)、4月29日(土)

いずれも午前10時-正午、午後1時-3時

実 演: 禰宜田 徹氏(三河大浜土人形師)

会 場: 第3民芸館 *時間中の見学は自由

○ 土人形絵付け体験

禰宜田徹氏による素焼きの招き猫や童子など(約15cm)の土人形にアクリル絵の具で絵付けします。

日 時: 3月25日(土)、4月29日(土)

いずれも①午前10時-正午 ②午後1時-3時

参加費: 1,800円

定 員: 中学生以上、各回6名

会 場: 第3民芸館

※「土人形絵付け体験」申込みについて

往復はがき、またはホームページの講座申込みフォームで、3月7日(火)までに必着。往復はがきの場合は、往信裏面に講座名・希望日時(第2希望まで)・参加者名・住所・電話番号を記入。(1枚のはがきで2名までの申込み可)応募者多数の場合は抽選。

豊田市民芸館

〒470-0331

愛知県豊田市平戸橋町波岩86-100

TEL 0565-45-4039

<https://www.mingeikan.toyota.aichi.jp/>

※新型コロナウイルス感染症の影響で、日程や内容に変更が生じる場合があります。最新情報および関連事業の詳細については、当館ホームページでご確認いただくか、電話にてお問い合わせください。



交通のご案内 電車/名鉄三河線 平戸橋駅より徒歩15分、猿投駅よりタクシー7分 車/東海環状自動車道 豊田勘八ICより10分、猿投グリーンロード枝下ICで降り右折10分